

子ノ権現(天龍寺)略縁起

当山は、延喜十一年(九一)六月十三日、子ノ聖が初めてこの地に十一面観音をお祀りし、天龍寺を創建されたことに始まります。その後、弟子の忠實上人が子ノ聖を大権現と崇め、子ノ聖大権現社を建立されました。

現在の和歌山県天野の地に生まれた子ノ聖は、生来才地するべく仏教に通じ、生誕が子年子月子子日子時刻であったため人々に子ノ日丸と呼ばれ長じては各地行脚の後当山を開かれました。聖は丹天の折、「我、花縁につきぬれば夜光の本よに帰るべし。然れども、この山に跡を垂れて永く衆生を守らん。我登山の折、魔火のため膝と足を傷め悩めることあり。故に膝より下を病める者、一心に祈らば、その験を得せしめん」と誓いをたてられました。以来、足腰守護の神仏として信仰されています。



交通のご案内

- ・西武秩交線「吾野」「西吾野」から徒歩約90分(ハイキング道)
- ・西武池袋線「飯橋」または西武秩交線「東飯橋」からタクシーで約40分
- ・圏央道「狭山・日高インター」より飯能市内経由約60分又は、関越道「鶴ヶ島インター」より約80分
- ・子ノ権現から竹寺まで徒歩約70分(豆口峠経由)

路線図



周辺案内図



※当寺までの山道は全面舗装されています。また山頂には屋根付き駐車場も完備しております。

子ノ権現天龍寺

〒357-0214 埼玉県飯能市大字南461
TEL.042-978-0050(代) FAX.042-978-0052

足腰守護

創建九百十年(延喜十一年)天台宗特別寺
武蔵野観音三十二番札所
関東百八地蔵尊十番札所

ねのごんげん

子ノ権現天龍寺





当山は、奥武蔵自然公園内、伊豆ヶ岳、古御岳と続く秩父連峰東端の山頂に位置します。
標高は東京スカイツリーとほぼ同じ、640m程あり、山頂に至る登山道は、四季折々に美しい姿をみせ、参拝者は勿論、山の愛好家にも親しまれています。

当山からは、大宮ソニック↑横浜アン
ドマリクタワー↑まで眺望でき、芝場の晴
れた日には、東京スカイツリーを含め、
那此の超高速ビル群、東京湾や英波山
も見渡せます。また、雨上がりの雲海は
心洗われる素晴らしいです。

二本杉(埼玉県指定天然記念物)
当山門前にある二本杉は、子ノ聖が開
山の祈り、誓代わりに使った杉の枝をこ
こに挿し、それが成長して大木になっ
たと伝えられ、樹齢およそ千年といわ
れています。



鉄のワラジ

当山では古より、木草鞋(履物)系納
し、轆をかける習わしがあり、境内にあ
る重二丁(斤)の日本一の鉄のワラジは、
その信仰のシンボルとなっています。



本坊

江戸時代末期に建てられたもので、茅
と杉の皮で何層にも葺かれた屋根は、
当山の名物となっています。庫裡の大
黒柱は間隔二メートル三十センチの規
の大木が使われています。



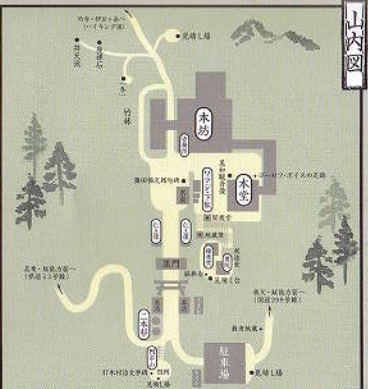
本堂

総ヶヶ寺造りの日本堂は昭和五十六年七
月に落雷により焼失し、その後多くの
信者さんのお寄付により僅か二年で再建
されました。尚、木草鞋はじゆめ草鞋は
実体です。
角大仰や豆大師の漢詩で親しまれる
「危松三丈脚」十二面观音不動明王
草鞋が合祀されています。



仁王像

当山の黒門に立ちらるる仁王像は、
昭和十一年に北井深操氏により建立
され、その男衾を姿は邪鬼なる者を退治し、
仏法を護持しようとする意味がこめられ
ています。露風の仁王は姿が奇麗です。



祈願	
護摩供 (年中無休)	車加持 (お送還祈願の すすめ)
願掛け ワラジ	講中参拜
<p>当山では、遠征のお願いや病の平癒祈願をこめて、毎日御堂前において護 摩供を捧げております。護摩は仏様は五穀をとお願い、事の成就を祈り、 文庫を焚くことにより病魔等を退散させるもです。反復祈願、厄除祈願、 厄除け、方位除け、家内安全、交通安全、当山安全、送還祈願等を祈りい たします。その本堂の加持力をもめた御堂前にお参りします。</p> <p>護摩とは別に車加持の加持祈願を行っております。</p> <p>現代では、人間の足代わりとなっている自動車、バイク等の交通安全の 護摩とは別に車加持の加持祈願を行っております。</p> <p>当山の参詣が困難な方々、遠方にお住みの、方々の為の御祈願方法とし て、御送還護摩を掛け付けてあります。本堂御堂前にて護摩供捧げお札 を無事いただきます。電話にてお問い合わせください。</p>	<p>ワラジは古来より、御堂を運ぶこと、いわれ、善事を運び届けるものとと れます。二足のうち一方の鞍馬形用紙に氏名と願事記入し、本堂棟に懸 うを込めて境内に掛け、もう一方は本堂棟の霊籠各々に掛けられるよ うに自由におまつりします。</p> <p>当山には、百ヶ(夏)と講中(秋)の二回定二十三日の集まりから 二百人を越える団体さまがあり、巻札には送日御堂一円から登山 参詣し、護摩供に参加されます。講は十八日以上の集まりで、毎年登山 参詣できる方々となりたてても結成(ご参加いただけ)ます。</p>

行事

- 除夜の鐘(三昧大護摩供
天降日 元旦)
- 除夜の鐘は当日参加さ
れた方々にだけ行われ
ます。
- 元朔大護摩供は、その年
最初の護摩供で家内安
全や厄除等の祈願が行
われます。
- 大祭 (四月十日)
- 子ノ聖が祀られた日
にあたり、護摩供をはじめ
め大松焚祭の執事が行
われます。
- 花祭り(五月八日)
- 御釈迦様の誕生会。当日
参詣された方々には甘
茶がふるまわれます。
- 開山日(六月十日)
- 子ノ聖が当山を開かれ
た日にちなみ、護摩供
をはじめ二本杉の故事
をにらんだ落立の儀が
行われます。
- *大祭・開山祭には五乳
親王がマイクロボスの
御開帳(お参り)
- 御開帳(お参り)
- 本尊子ノ聖像は概して、
十二年に一度子年の年
限られた期間にお祈り
の扉が開けられます。本
尊像の手に結ばれた五
色の紐により多くの方
が結縁されます。
- 流澤止観の会等
- *お部屋に飾るの案内*
茶会初会 写真八イイラ
などの同好会等にも、お部屋
をお貸ししております。
期金 一箱 三百円
期金 一箱 十時〜十六時の間
(通常より一時間可、飲食物
持込み不可(受取専用別送)